

- 問1 明治新政府が発足した直後の1868年、民衆に対して江戸時代からの政策を引き継ぎ、キリスト教の信仰を厳しく禁止するなどの内容を記した公定の立て札を何といひますか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 廃藩置県                      2. 五榜の掲示                      3. 五箇条の御誓文                      4. 王政復古の大神令
- 
- 問2 西南戦争が終結し、武力による新政府への抵抗が困難であることが明らかになった後、明治時代の反対運動はどのように変化しましたか。その後の歴史的展開として正しい説明を選んでください。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 不平士族たちの要望を受け入れる形で、江戸時代の身分制度や家禄が一部復活した。                      2. 政府は反対勢力をなだめるため、即座に選挙を実施し、不平士族のみに参政権を与えた。                      3. 武力行使に代わり、言論の力で国会の開設や憲法の制定を求める自由民権運動が活発化した。                      4. 政府への不満を持つ人々は、政治に関与することを諦めて海外への移住を急いだ。
- 
- 問3 明治政府が、戊辰戦争の翌年に実施された「版籍奉還」という政策を最初に行った目的として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 憲法を制定し、国会を開設するための準備を整えるため                      2. 武士の身分を廃止し、国民全員が兵役に就く制度を整えるため                      3. 土地と人民を天皇に帰属させることで、中央集権国家の基礎を築くため                      4. 全国の土地を調査し、それに応じた税を現金で徴収できるようにするため
- 
- 問4 明治時代初期に設立された富岡製糸場の役割や、当時の社会状況についての説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。なお、当時の記録には山口県など遠方の地域からも技術を学ぶために若者が派遣されていたことが示されています。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 足尾での鉬毒問題を受け、環境汚染を防ぎながら銅を効率的に生産するための最新設備を備えた工場として稼働した                      2. フランスの技術と機械を導入し、全国から集まった工女たちが技術を習得して、各地の製糸業の指導者となった                      3. 政府の直接管理により、伝統的な手作業による製糸技術を保存し、国内向けに高級な絹織物を供給し続けた                      4. ドイツの技術を導入して北九州に建設され、鉄鋼の自給自足を目指すとともに、日本の重工業化の先駆けとなった
- 
- 問5 明治維新後の政治体制において、大久保利通が「内務卿」として主導した政策の目的と背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 武士の特権を維持することで不平士族の反乱を抑えようと、版籍奉還後の領地を再び旧藩主へと返還する方針を打ち出した。                      2. 欧米諸国の視察を通じて痛感した国力の差を埋めるため、官営模範工場の設立などを通じて国内諸産業の育成を図った。                      3. 不平等条約の改正を有利に進めるため、鹿鳴館を建設して欧米風の生活様式を国民に強制し、急速な欧化政策を進めた。                      4. 議会政治の早期実現を目指し、自由民権運動の要求を受け入れる形で国会の開設時期を公約した。
- 
- 問6 明治政府は欧米諸国に対抗できる国づくりを目指し、交通網の整備を進めました。1872年に日本で最初の鉄道が開通した際、営業が開始された区間として正しいものを選択してください。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 東京・京都間                      2. 横浜・神戸間                      3. 新橋・富岡間                      4. 新橋・横浜間
- 
- 問7 明治維新期の租税収入に関する統計を見ると、1875年度の時点では政府の租税収入の大部分を地租が占めていましたが、その割合は1870年代後半にかけて徐々に減少していく傾向にあります。この統計上の変化の背景にある出来事の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 殖産興業を推進するため、政府が農民に対して地租を完全に免除したから                      2. 各地で激化した反対一揆を鎮めるため、政府が地租を地価の2.5%に減額したから                      3. 物価変動の影響を避けるため、政府が現金による納税を廃止し米納に戻したから                      4. 地主の勢力を抑えるため、政府が土地の所有権を認める「地券」を回収したから
- 
- 問8 1871年に明治政府が実施した「廃藩置県」の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
1. 明治政府による中央集権体制を確立するため                      2. 土地の所有権を認め、それに基づき税を徴収するため                      3. 武士の特権を認め、地方の軍勢力を強化するため                      4. 大名が土地と人民を天皇に返還する形式を整えるため
- 
- 問9 明治政府が租税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した目的として、最も適切な背景を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 農村における地主の権限を弱め、すべての農民を自作農にするため。                      2. 豊作や凶作、あるいは米価の変動に影響されず、政府の収入を安定させるため。                      3. 貨幣経済の浸透を防ぎ、江戸時代のような物価の安定を図るため。                      4. 米の生産量を全国一律に管理し、食糧不足を解消するため。
- 
- 問10 明治政府は、五箇条の御誓文で新しい政治のあり方を示した後、中央集権的な国家体制を盤石にするため、それまで各地方を治めていた藩を廃止して、中央政府が任命した官吏を派遣する「廃藩置県」を行いました。この政策の主な目的として、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 地方の統治権を中央政府に集中させ、全国の税収や軍隊を一元的に管理できる体制を整えるため。                      2. 江戸時代の幕藩体制を維持しつつ、各藩の領主が独自に欧米諸国と貿易を行うことを認めるため。                      3. 武士の特権を永続的に保護することで、士族による新政府への反乱を未然に防ぐため。                      4. 都市部に集中していた人口を地方へ分散させ、全国一律に近代産業を普及させるため
- 
- 問11 井原西鶴や近松門左衛門が活躍した時代は、当時の元号から「元禄文化」と呼ばれます。しかし、明治時代になると元号の制度が大きく変わり、現代まで続く運用のルールが定められました。明治以降の元号の決め方について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 天皇一人の在位期間中、元号を一つに限定するようになった                      2. 朝廷が授ける「官位」の名称をそのまま元号として用いるようになった                      3. 優れた功績を挙げた政治家の「姓名」から元号を選ぶようになった                      4. 亡くなった天皇を称える「諡（おくりな）」を、そのまま存命中の元号とした
- 
- 問12 「王政復古の大神令」の宣言によって政治的立場を失うことに不満を持った旧幕府勢力が、新政府軍と武力衝突するに至った歴史的背景を持つ出来事はどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 西南戦争                      2. 下関戦争                      3. 甲午農民戦争                      4. 戊辰戦争